

特別支援教育 ほっと通信

平成31年2月
校長会お役立ち情報

今日の予定	
7月7日(月)	
1	国語 漢字テストNo10
2	算数 比と比の値
3	体育 プール → 体育館
4	音楽 音楽室 リコーダーテスト
5	社会 秀吉の業績について
6	学習 1学期のまとめ

見通し

時間	内容
10:00	1年生とクイズ大会をひらいて
10:30	1年生とクイズ大会をひらいて
11:00	1年生とクイズ大会をひらいて
11:30	1年生とクイズ大会をひらいて
12:00	1年生とクイズ大会をひらいて
12:30	1年生とクイズ大会をひらいて
13:00	1年生とクイズ大会をひらいて
13:30	1年生とクイズ大会をひらいて
14:00	1年生とクイズ大会をひらいて
14:30	1年生とクイズ大会をひらいて
15:00	1年生とクイズ大会をひらいて
15:30	1年生とクイズ大会をひらいて
16:00	1年生とクイズ大会をひらいて
16:30	1年生とクイズ大会をひらいて
17:00	1年生とクイズ大会をひらいて

(○、△、★)

西部地区特別支援学級 指導のポイント ～西部地区の子供たちの力をさらに高めるために～

□ 年齢や学年相応の言葉づかいをしている。

～ちゃん ⇒ ～さん ～だよね ⇒ ～ですね
はやくしなさい ⇒ ○○分までにしましょう

(◆、▼) 呼名の仕方等は校内で統一することが大切です。

□ 指示は短く、具体的な言葉で伝えている。

筆箱を持って、後ろに並んで、図書室に行きます。
⇒ 図書館に行きます。出席番号順に並びます。
持ち物は筆箱だけです。

(○、△、◆) 指示を板書するなどの視覚化も有効です。

□ 曖昧な表現を避け、できるだけ具体的な言葉で表現している。

だいたい、このくらいです。⇒ 縦30cm、横20cm、重さ10kgです。

具体的な表現を使うことで、思考のプロセスを確認することにつながります。⇒「思考モデル」 (○、▼、★)

障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指す。

□ 時・場所・状況に応じた適切な言葉づかいを意識している。

(例) 来校者と出会った場面で

- ・御用件をお伺いいたします。
- ・校長室でしばらくお待ちください。よろしくお願いいたします。

対応中の体の動きなども大切です。⇒「行動モデル」

(◆、▼)

□ 指示代名詞を使わず、具体的に話している。

「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」
⇒ 体育館の東側の階段下に集合しましょう。

具体物を使ったり、図にあらわしたりするなど、他感覚に働きかけることも有効です。

(○、◆)

□ 声の大きさに気を付けている。

声の大きさの視覚化 (例) 声のものさし

視線を合わせること、身振りや表情等も大切です。

(□)

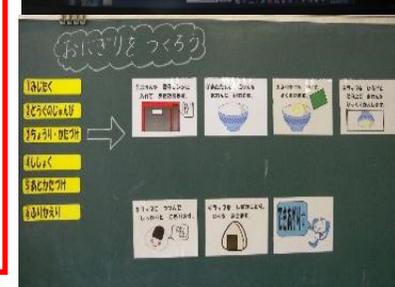
令和2年2月
西部教育局

コミュニケーション



(◆、▼)

言語・視覚支援



(○、△、★)
※写真は平成28年12月号より

学校訪問から見た成果と課題 ～特別支援教育の視点から～

【成果】

- 視覚支援を使いながら、短い言葉で説明をしている。(○)
- 声の大きさや抑揚が見える化している。(□)
- 学習の見通しを毎時間同じ方法で提示している。(△) 等

【課題】

- 時・場所・状況に応じた言葉づかいができていない。(◆)
- 年齢相応の言葉等を引き出すことができていない。(▼)
- 丁寧な文字で板書をしていない。(★) 等

【成果】についても、学校間での差、学級間での差が見られます。

子供たち一人一人の力を最大限まで高めるために、来年度も「指導のポイント」を確実に実行しましょう。

要再確認!

子供たちにとって、よりよい「言語モデル」になっていますか?